

令和元年度 協力研究員

	氏名	現職	研究領域	研究課題	受入教員	備考
1901	井上 徹教	国立研究開発法人 海上・港湾・航空技術研究所 港湾空港技術研究所 海洋情報・津波研究領域 海洋環境情報研究グループ	環境水理学	中海宍道湖の湖水の貧酸素改善に関する研究	矢島 啓	H30年度～
1902	辻谷 睦巳	有限会社大一工業・職員	生態環境工学	宍道湖におけるヤマトシジミの餌環境および生態に関する研究	香月興太	H30年度～
1903	藤木 利之	岡山理科大学理学部基礎理学科・講師	湖沼堆積物を用いた花粉分析による古環境復元	花粉分析による古植生変遷の研究	瀬戸浩二	H30年度～
1904	奥中 亮太	文化財調査コンサルタント株式会社・職員	沖積層の堆積構造・微粒炭・プランクトンパールの研究	沖積層の堆積構造と微化石	瀬戸浩二	令和元年度～
1905	鹿島 薫	国立大学法人九州大学大学院理学研究院・准教授	古環境復元	珪藻遺骸群集を用いた汽水域の古環境復元	香月興太	令和元年度～
1906	河野 重範	栃木県立博物館自然課・主任	微古生物学	沿岸域における貝形虫群集に関する研究	香月興太	令和元年度～
1907	河野 隆重	有限会社河野技術調査・代表取締役	河川砂防及び海岸・海洋	野島層群の基礎研究（九州北西部における分布範囲と堆積構造）	センター長	令和元年度～
1908	國井 秀伸	国立大学法人島根大学・名誉教授	保全生態学、水圏植物生態学	宍道湖・中海とその周辺の水生植物の多様性モニタリング	齋藤文紀	令和元年度～
1909	小島 夏彦	大阪工業大学工学部・教授	汽水湖の渦鞭毛藻の動態	中海の渦鞭毛藻遊泳体とシスト分布の変化と環境要因	瀬戸浩二	令和元年度～
1910	後藤 隆嗣	株式会社蒜山地質年代学研究所・研究員	古生物学・地質学	GPS元素分析を使った研究	瀬戸浩二	令和元年度～
1911	齊藤 直	株式会社奥村組広島支店・技術部長	リサイクル（無機系材料のカルシウム水和とその応用）・水域の環境修復（波浪・底質特性と閉鎖性水域を中心とした環境修復）	斐伊川下流域の水環境に関する研究	センター長	令和元年度～
1912	坂井 三郎	国立研究開発法人海洋研究開発機構・技術研究員	同位体地球化学・地質学・古環境学	同位体地球化学手法を用いた環境変動解析	瀬戸浩二	令和元年度～
1913	作野 裕司	国立大学法人広島大学大学院工学研究科・准教授	リモートセンシング工学	リモートセンシングによる汽水域環境モニタリング手法に関する研究	矢島 啓	令和元年度～
1914	園田 武	東京農工大学生産学部アクアバイオ学科水産増殖学研究室・助教	汽水生物学・水産増殖学	エスチュアリーとその流入流域の底生動物の生態学的研究	瀬戸浩二 香月興太	令和元年度～
1915	高田 裕行	大韓民国 釜山大学 海洋学科・博士研究員	微古生物学	微古生物学的アプローチにもとづく日韓両国の汽水環境における完新世環境変動の比較研究	香月興太	令和元年度～
1916	田中 里志	国立大学法人京都教育大学教育学部・教授	第四紀学、堆積学	湖・内湾ならびに陸上の湿地等の堆積物から環境変遷を探る研究	瀬戸浩二	令和元年度～
1917	辻井 要介	みなもかん	水圏生態学（淡水・汽水域の動植物など）	山陰地方における淡水・汽水生物の生態と地理的分布の把握	センター長	令和元年度～
1918	徳岡 隆夫	国立大学法人島根大学・名誉教授	汽水域環境変動	中海宍道湖の自然再生	齋藤文紀	令和元年度～
1919	野口 竜也	国立大学法人鳥取大学工学部社会システム土木系学科・助教	地震工学・地下構造探査、物理探査法を用いた地下構造推定	島根半島および弓ヶ浜半島における地下構造調査	矢島 啓	令和元年度～
1920	服部 且	大妻女子大学・名誉教授	出雲国風土記	当時の歴史・文学・地理・環境	瀬戸浩二	令和元年度～
1921	林 建二郎	元防衛大学校・教授	環境水理学、水辺植生、湖畔・海岸林	湖水に生育する水辺植生に作用する流体力と流動抵抗・消波特性	センター長	令和元年度～
1922	平井 幸弘	駒沢大学文学部・教授	自然地理学	ラグーンの開発と環境問題、自然再生に関する研究	センター長	令和元年度～
1923	藤井 智康	国立大学法人奈良教育大学 理科教育講座・教授	湖沼物理学（汽水湖における貧酸素水塊の動態に関する研究）	汽水湖における貧酸素水塊の発生・消滅過程に関する研究	矢島 啓	令和元年度～
1924	細澤 豪志	株式会社海中景観研究所・研究開発担当部長	水圏生態学（水生昆虫、多毛類などの水圏生物の分類、生活史・生態等の研究）	水圏生物の生態に関する研究	センター長	令和元年度～
1925	宮澤 成緒		汽水域の汀線（水際）の環境、底生動物などの調査	中海旧本庄工区水域の水産資源の回復	矢島 啓	令和元年度～
1926	椋田 崇生	国立大学法人鳥取大学医学部解剖学講座・講師	適応生理学・環境生理学	広塩性魚を用いた体液ホメオスタシスの脳内調節機序の解明	瀬戸浩二	令和元年度～
1927	本橋 佑季	環境システム株式会社 研究員	汽水域における水質データの解析・データベース化	宍道湖・中海の水質データベース構築	センター長	令和元年度～
1928	山内 靖喜	協同組合島根県土質技術研究センター・顧問	地質学	隠岐諸島と大山北麓の第四紀層の層序	センター長	令和元年度～
1929	山田 勝雅	国立大学法人熊本大学 くまもと水循環・減災研究教育センター・特任助教	水圏生態学、生物多様性	斐伊川水系における二枚貝の基礎生産に関する研究	川井田 俊	令和元年度～
1930	山田 桂	国立大学法人信州大学学術研究院理学系・教授	微古生物学	中海における完新世の古環境変動	瀬戸浩二	令和元年度～
1931	山田 和芳	ふじのくに地球環境史ミュージアム・教授	自然地理学	汽水域の環境史研究	瀬戸浩二	令和元年度～
1932	鴛海 智佳	環境省中国四国地方環境事務所・生息地保護連携専門官	魚類生態学	コイ科タナゴ亜科ミナミアカヒレダビラの保全に関する研究ほか	センター長	令和元年度～
1933	都筑 良明		環境工学、環境経済学、社会科学	水域の環境と経済および人々の暮らしに関する研究	センター長	令和元年度～
1934	山内 健生	国立大学法人帯広畜産大学畜産学部環境生態学ユニット・准教授	動物分類学、寄生虫学	宍道湖・中海における等脚目甲殻類の多様性に関する研究	センター長	令和元年度～
1935	廣瀬 孝太郎	早稲田大学創造理工学研究所・助教	第四紀地質学・古生物学	堆積物を用いた古環境・古生態の解明	瀬戸浩二	令和元年度～
1936	須崎 萌実	米子工業高等専門学校物質工学科・助教	環境分析化学	中海における独立性の高い浸漥窪地が環境に及ぼす影響の評価	瀬戸浩二	令和元年度～
1937	大塚 泰介	滋賀県立琵琶湖博物館・総括学芸員	珪藻の群集生態学および分類学	汽水湖と干潟の珪藻群集	香月興太	令和元年度～

1938	濱田 孝治	株式会社シャトー海洋調査 環境事業部東京事業所・所長代理	沿岸海洋学、水産学	AIによる海洋環境と水産資源の関係の解明	金 相暉	令和元年 度～
------	-------	---------------------------------	-----------	----------------------	------	------------